

## 中村雄太 ゼミ論テーマ

### 「日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の国民栄誉賞の受賞は本当に必要だったのか —なでしこジャパンの実績と過去の例を比較して考える—」

#### はじめに

今回僕がなぜこのテーマについて論文を書こうと思ったのか、その理由は日本女子代表（なでしこジャパン）が国民栄誉賞を受賞したがこれ以前に今回の日本女子代表（なでしこジャパン）と同等もしくはさらに活躍したスポーツ選手もいるのにその人たちには受賞されずなぜ今回のなでしこジャパンは受賞できたのかという率直な疑問からである。

記事の引用部分は「」で示してある。

#### 1. なでしこジャパンの実績

まず、今回の国民栄誉賞の必要性を説く前に日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の今回の実績がどのくらいすごいかということ解説していこうと思う。

最初は、ワールドカップの実績から。「これまでに日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）は、FIFA 女子ワールドカップの全大会に出場しています。初の大会は 1991 年に中国で開催され、日本女子代表はグループリーグで敗退しました。しかしその次の 1995 年大会（スウェーデンで開催）でベスト 8 に進出しました。1999 年、2003 年大会はアメリカ合衆国で開催され、残念ながら決勝トーナメント進出はなりませんでした。」

次に、オリンピックの実績。「女子サッカーは 1996 年のアトランタ大会から正式種目に認定され、1996 年と 2000 年大会は、それぞれ前年に開催された FIFA 女子ワールドカップの上位チームが出場しました。

日本女子代表は、1996 年アトランタ大会に出場しましたが、決勝トーナメント進出ならず。次のオリンピック出場権をかけた 1999 年の予選大会（FIFA 女子ワールドカップ 1999）で敗退したため、2000 年大会出場はなりませんでした。2004 年には、同大会から初めて導入された大陸別地区予選でオリンピックへの出場権を獲得。「なでしこジャパン」の名でアテネ大会に出場した日本女子チームは、開幕戦で 2003 年の FIFA 女子ワールドカップで準優勝に輝いたスウェーデンと対戦し、1-0 で勝利する大金星を上げました。準々決勝に駒を進めた日本は、アメリカ女子代表と対戦、この大会で金メダルを獲得した強豪を相手に果敢に挑みましたが、2-1 で惜敗し、金メダル獲得の夢は次回へと持ち越されました。」

この事からわかるようにワールドカップでは決勝トーナメントにすら出場したことがなく、オリンピックでも最高で準々決勝までしか行ったことがないという実績しかなかった日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）それが今回優勝ということでその実績は素晴らしいものであるということが分かる。しかし、それと同等に男子野球日本代表（侍ジャパン）も同じような実績をあげているのに何故受賞されなかったのか。

## 2. なでしこジャパンと侍ジャパンの比較

今回のテーマでもある日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の国民栄誉賞の必要性を説くにあたって、過去に同じような実績をあげた団体として最も近い日本男子野球代表（侍ジャパン）の実績、社会影響などを比較していこうと思う。

まずは、実績から。日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の実績は上記の実績を参考にする。日本男子野球代表（侍ジャパン）は、最近発足したばかりであり世界大会はWBCというのが行われた。WBCというのは大会正式名「ワールド (world)・ベースボール (baseball)・クラシック (classic)」の頭文字を取った略称。世界中の優秀なプレーヤーたちが母国を代表して、世界一を競う国別対抗野球大会のこと。2006年が初開催となる。世界の人々に野球への関心を高めることや、新たな野球ファンおよび選手を生み出すことが目的。この大会をきっかけに野球の認知、発展、国際化を目指す。最大の特徴は五輪には出場しなかったメジャーリーガーの参加が可能となり、メジャーリーガー、日本プロ野球選手から世界のプロ選手たちが一堂に会す。第1回の出場国は北中米、アジア、欧州、アフリカ、豪州など16カ国・地域が集まる。第2回も同様である。このWBCで日本男子野球代表（侍ジャパン）は開催されてから2大会連続優勝という成績を収めているのである。この成績を比較する限り自分は日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の成績と日本男子野球代表（侍ジャパン）の成績にそこまでの差は感じない。次に、社会影響を比較してみる。この社会影響に関しては比較対象がないので省略するがWBCで日本男子野球代表（侍ジャパン）が優勝した2006年2009年にはなかった自然災害、つまり、日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）が優勝した2011年に起こった東日本大震災が今回の国民栄誉賞受賞の一番大きなキーポイントになっているのではないだろうか。2011年3月11日に起きた東日本大震災、今回女子サッカー日本代表（なでしこジャパン）が国民栄誉賞を受賞した際に国民に希望と勇気を与えたというのがよくいわれていた。しかし、それは東日本大震災が起こったために言われたもので純粋に彼女らの活躍を評価して国民栄誉賞を与えたというのには矛盾点が生まれてこないだろうか。仮にもし大震災が起きたのがWBCで男子野球日本代表(侍ジャパン)が優勝した年だったら、あるいは女子ソフトボール日本代表がオリンピックで優勝している年だったら彼ら、彼女らに国民栄誉賞が与えられていたのではないだろうか。これはあくまで自分の見解にすぎないがそれくらい日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の今回の受賞と東日本大震災の関係性は深いものだと思う。

3. 日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の国民栄誉賞は必要だったのか。

<上杉隆のネット上の文章の長い引用>

<http://the-news.jp/archives/5059>

この文章は上杉隆氏の文章である。これからこの文章を読み今回の国民栄誉賞の必要性について論じていく。上杉隆氏は今回の国民栄誉賞受賞に関して二つの要因から今回の受賞を批判している。一つ目は政治的要因である。彼は、ここで初めての受賞者である王貞治氏の例を出してそれを説明している。

そもそも、国民栄誉賞が出来る前に内閣総理大臣顕彰というものがありこの彰では野球選手の受賞がなかったのが国民栄誉賞がつくられたのである。国民栄誉賞というのは個人に与えるものであり、1977年当時の福田赳夫内閣総理大臣が王貞治氏の本塁打世界記録を祝して創設したものだということは有名な話である。国民栄誉賞を受賞した人物は日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）を除いて現在では17人。その17人すべてが個人としての受賞であり、いくつもの素晴らしい実績を残している人々である。例をあげてみると、同じスポーツ選手としてならばマラソン選手の高橋尚子選手、彼女は2000年のシドニー五輪で五輪世界新記録を出して優勝、2001年のベルリンマラソンでも大会新記録を出して優勝、翌年のベルリンマラソンでも新記録は出さないものの優勝をしたのである。彼女は約2年間の間に3回の優勝2度も新記録を作ったという実績を残しシドニー五輪の後に国民栄誉賞を受賞している。これと比べてみると確かに女子サッカー日本代表（なでしこジャパン）の実績はあまりにも少なすぎる。上杉隆氏の文章にも書いてあるように、もし首相が本当に今回の実績を称えるなら内閣総理大臣顕彰あるいはロンドン五輪が終わってからの授与でもよかったのではないだろうか、国民栄誉賞を受賞したことによりその余韻に浸ってロンドン五輪で結果を残せなかった場合政府、日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）どちらにも批判の声が挙げられてしまうのではと自分も思った。

二つ目は精神的要因である。これは、イチロー選手が国民栄誉賞授与を辞退したというのが今回の日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の受賞と比較され話されている。イチロー選手は過去に二度国民栄誉賞を授与される機会があった。しかし、彼は二回とも「国民栄誉賞をいただくことは光栄だが、まだ現役で発展途上の選手なので、もし賞をいただけるのなら現役を引退した時にいただきたい」と国民栄誉賞授与を断っている。これまで数々の記録を残してきたのにもかかわらずさらなる高みを目指す彼の姿勢は素晴らしいものだとして僕自身感心した。それに比べ日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の場合実績でいっても過去には男子野球日本代表（侍ジャパン）や、女子ソフトボール日本代表のそれと対して差もないにもかかわらず簡単に国民栄誉賞を受賞しているのは否めない。さらに言えば国民栄誉賞を過去に受賞した人々のうち十一人が死後になって受賞している

ことといい存命中に国民栄誉賞を受賞するということはとても光栄であるとともにプレッシャーである。初代受賞者である王貞治氏も自分の失態で賞の価値を下げてはいけないという思いからプレッシャーが重くのしかかり外を歩くのもままならなかったと言っている。実際マラソン選手の高橋尚子選手も国民栄誉賞のプレッシャーによってその後オリンピックで入賞することはなくなっている。それに比べ女子サッカー日本代表（なでしこジャパン）をどうだろうか。国民栄誉賞受賞後、日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の一部選手が合コンに行きその様子を相手の男性にツイッターで流されるというツイッター事件というのも起こっている。

また、政界面からではなく国民からも非難の声が上がっており、前内閣総理大臣である菅氏からの受賞は不名誉。であったり、どうせ授与するなら退陣してから授与するなどの意見がツイッターなどでつぶやかれているという情報もあった。

#### 4. まとめ

今回の論文では、まず日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）の実績について言及していった。過去にも男子野球日本代表（侍ジャパン）や女子ソフトボール日本代表が同じように実績を残しているのに何故受賞されなかったのか。その大きな要因としてはまず東日本大震災が起こってしまったこと。過去に何の実績もない女子サッカー日本代表（なでしこジャパン）がワールドカップで優勝したことで国民に勇気と希望を与えたといわれ国民栄誉賞を受賞したが、これは、表向きの理由で本当は政治的PRのために利用したのではという声も上がっていた。上記で引用した上杉隆氏の文章にも書いてある通りたった一度の優勝で国民栄誉賞を与えるならなぜ過去に男子野球日本代表（侍ジャパン）女子ソフトボール日本代表はなぜ受賞できなかったのか。そもそも国民栄誉賞というものは個人を表彰するもので団体を表彰するものではないし、今回団体に表彰してしまったことで国民栄誉賞授与基準も下がってしまうかもしれない。さらに、過去の受賞者の王選手、高橋選手らも国民栄誉賞をもらうことは光栄ではあるが大きなプレッシャーになるといっていた。日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）は先にロンドン五輪を控えており少なからずプレッシャーになってしまい力を発揮できないかもしれない。本当に実績を評価するなら内閣総理大臣顕彰を授与したり借りに国民栄誉賞を与えるなら先に控えたロンドン五輪が終了してからも遅くはないのではと思った。国民も前内閣総理大臣である菅氏からの受賞ではかわいそうだから彼が内閣総理大臣を辞めてから授与して欲しいなどの意見も上がっていた。最終的に国民栄誉賞というのはやはりとても光栄な賞であるが故にイチローのように現役時代には授与を断るものもある。その事を考えると今回の女子サッカー日本代表（なでしこジャパン）の受賞は政府も与える必要もないし、日本女子サッカー代表（なでしこジャパン）も辞退するべきだと自分は思った。

参考ページ

<http://www.jfa.or.jp/archive/fanzone/faq/women/answer/index.html>

J F A サッカー協会 FIFA 女子ワールドカップでの日本の成績は？

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%BD%E6%B0%91%E6%A0%84%E8%AA%89%E8%B3%9E#.E5.8F.97.E8.B3.9E.E8.80.85>

日本語版 wikipedia 国民栄誉賞の概要、受賞者

<http://www.j-cast.com/2011/07/26102525.html?p=all>

J cast ニュース

<http://the-news.jp/archives/5059>

ザニュース。文 上杉隆氏